

第4章 訪問系サービス利用者の支給決定量に係る分析

この章では、訪問系サービスの支給決定量（1か月あたりの支給決定時間）に影響する利用者の属性（障害程度区分認定データ、医師意見書、概況調査結果）および地域特性を分析した。詳細な集計結果は資料編に掲載しているため、ここでは主な結果のみを報告する。

なお、訪問系サービスのうち、重度障害者等包括支援については、支給決定データが2件しか存在しなかったため、本章では分析対象としていない。

1. 居宅介護の支給決定量に係る要因分析

1) 基本集計

（1）利用者の属性による平均支給決定時間

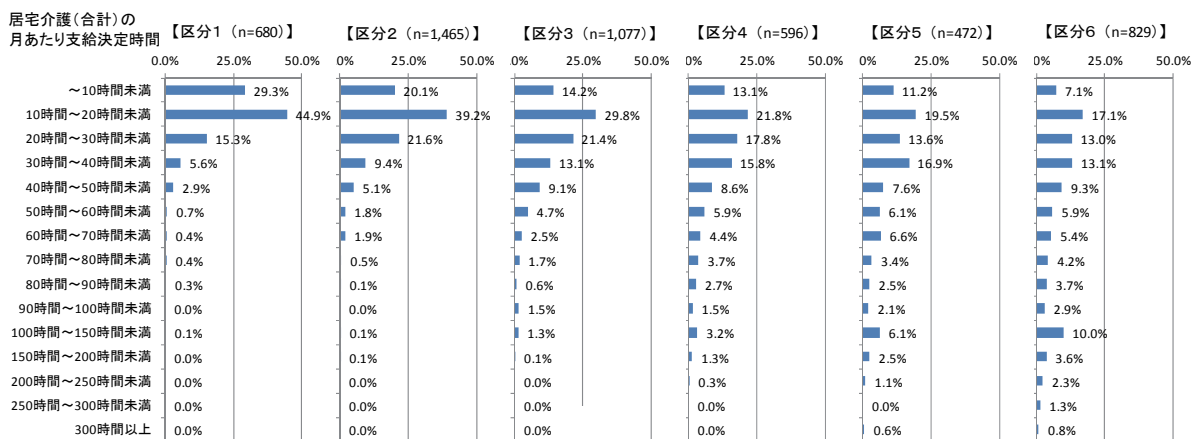
居宅介護サービスを利用している場合の、利用者の障害程度区分別の支給決定時間の平均値を算出したところ、区分1の平均時間は15.5時間、区分2は19.7時間、区分3は27.1時間、区分4は35.5時間、区分5は45.9時間、区分6は58.9時間であった。

身体介護では程度区分が高くなるほど平均支給決定時間も大きくなっていったが、家事援助は区分4以上ではほぼ一定、通院介助（身体介護あり／なし）では区分を問わずほぼ一定であった。

図表4-1 利用者の障害程度区分別の平均支給決定時間

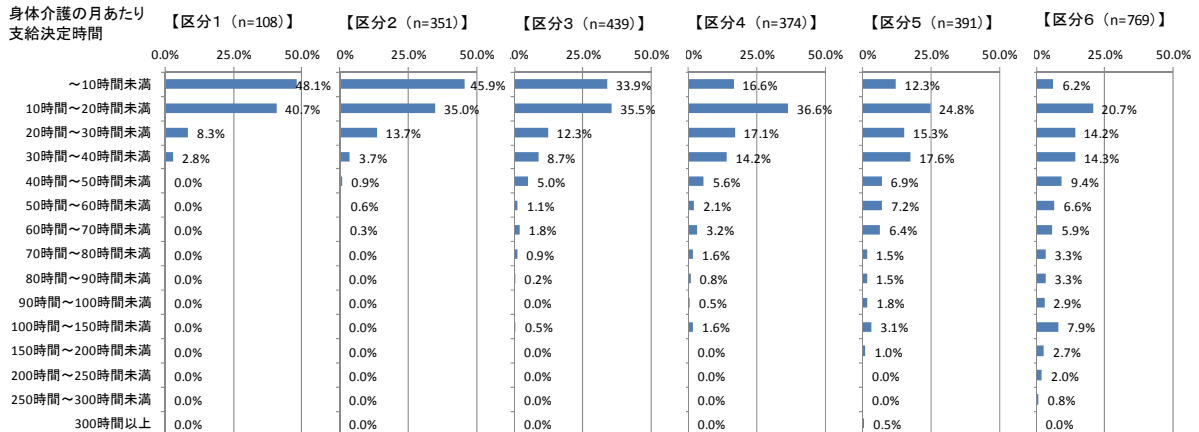
①居宅介護（合計）

		障害程度区分					
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
居宅介護 支給決定時間 (1か月あたり)	平均値	15.5	19.7	27.1	35.5	45.9	58.9
	最大値	105	190	163	215	491	350
	第3四分位	20	25	35	46	60	78
	中央値	13	15	21	25	30	38
	第1四分位	8	10	12	15	15	20
	最小値	1	1	1	2	1	2
	対象者数	680	1,465	1,077	596	472	829



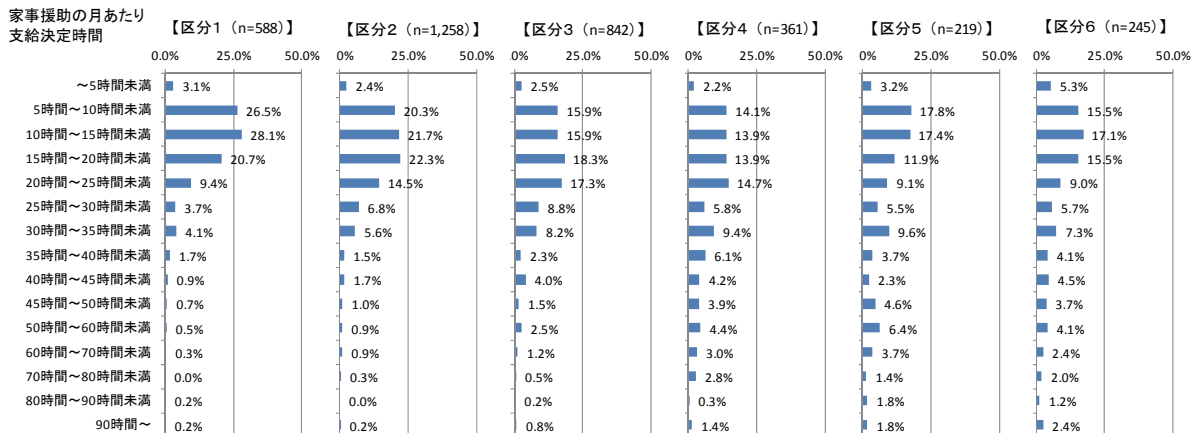
②身体介護

		障害程度区分					
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
身体介護 支給決定時間 (1か月あたり)	平均値	10.4	12.1	17.2	24.1	35.5	50.1
	最大値	30	62	130	140	480	256
	第3四分位	15	15	22	30	45	64
	中央値	10	10	12	18	25	32
	第1四分位	5	5	7	10	13	16
	最小値	1	1	1	2	1	2
	対象者数	108	351	439	374	391	769



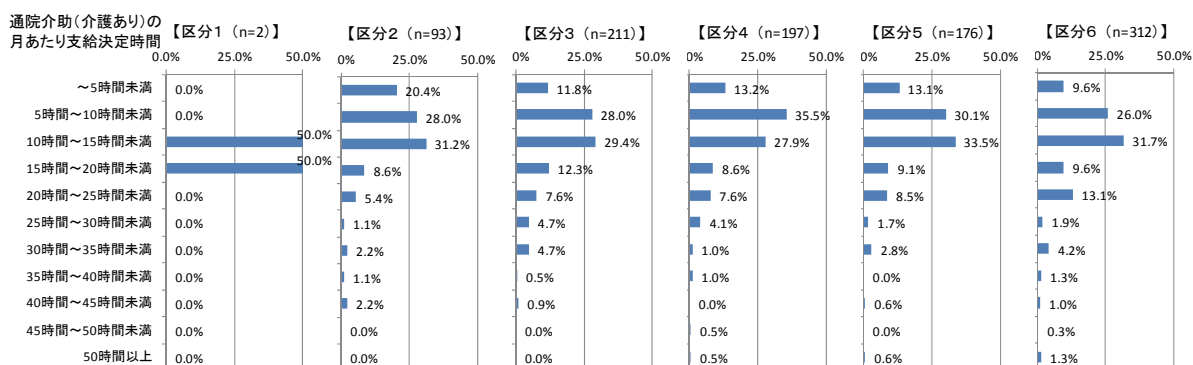
③家事援助

		障害程度区分					
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
家事援助 支給決定時間 (1か月あたり)	平均値	14.4	17.0	20.8	25.8	25.8	24.7
	最大値	105	120	112	133	140	120
	第3四分位	17	21	26	35	35	34
	中央値	12	15	18	20	19	16
	第1四分位	8	10	10	10	10	10
	最小値	1	0	1	1	1	2
	対象者数	588	1,258	842	361	219	245



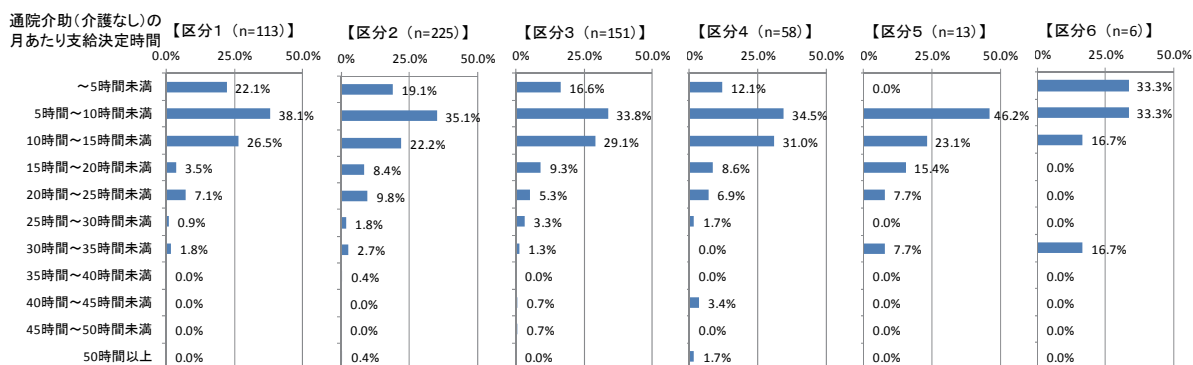
④通院介助（身体介護あり）

		障害程度区分					
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
通院介助（身体介護あり） 支給決定時間 （1か月あたり）	平均値	13.5	10.3	12.0	10.8	11.1	13.4
	最大値	15	40	40	50	78	162
	第3四分位	15	12	15	13	14	16
	中央値	14	10	10	10	10	10
	第1四分位	12	5	6	5	6	6
	最小値	12	1	1	2	2	1
	対象者数	2	93	211	197	176	312



⑤通院介助（身体介護なし）

		障害程度区分					
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
通院介助（身体介護なし） 支給決定時間 （1か月あたり）	平均値	8.5	10.2	10.2	11.7	12.2	10.5
	最大値	32	50	45	70	30	32
	第3四分位	10	12	12	12	15	14
	中央値	6	8	9	10	10	6
	第1四分位	5	5	5	5	6	3
	最小値	1	1	2	2	5	2
	対象者数	113	225	151	58	13	6



居宅介護サービスを利用している場合の、利用者の障害種別別の支給決定時間の平均値を算出したところ、身体のみは 43.9 時間、知的のみは 23.9 時間、精神のみは 19.4 時間であった。また、支給決定時間の平均値は、いずれの年齢階級でも大きな差はみられなかった。

図表 4-2 障害種別・年齢階級別の平均支給決定時間

障害種別

		居宅介護支給決定時間									
		n		身体介護		家事援助		通院介助(身体介護あり)		通院介助(身体介護なし)	
				n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間
障害種別	身体(重複を含む)	2,522	41.7	1,566	37.0	1,575	22.7	734	12.5	201	11.7
	知的(重複を含む)	1,745	28.3	956	28.4	864	18.7	390	10.6	222	8.7
	精神(重複を含む)	1,795	21.0	527	16.5	1,507	16.7	142	12.5	205	10.0
	身体のみ	1,767	43.9	1,019	39.3	1,268	23.2	499	12.5	165	11.7
	知的のみ	1,035	23.9	445	23.8	611	18.2	172	8.9	181	8.5
	精神のみ	1,534	19.4	418	14.0	1,311	16.2	84	12.7	177	9.9
	身体・知的	589	36.9	467	33.2	175	20.5	193	12.3	24	10.2
	身体・精神	140	35.3	65	27.9	118	21.3	33	14.6	11	12.8
	知的・精神	95	20.6	29	18.8	64	17.3	16	10.6	16	8.1
	身体・知的・精神	26	35.1	15	33.6	14	22.9	9	6.9	1	26.0

年齢階級

		居宅介護支給決定時間									
		n		身体介護		家事援助		通院介助(身体介護あり)		通院介助(身体介護なし)	
				n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間
年齢階級	20歳未満	196	32.8	163	30.0	47	17.3	49	13.7	7	8.3
	20歳～24歳	287	35.4	221	32.9	85	18.8	93	12.3	15	10.4
	25歳～29歳	290	32.8	182	34.3	118	18.4	71	12.1	23	10.8
	30歳～34歳	362	34.0	206	35.7	177	20.8	87	10.9	35	9.0
	35歳～39歳	463	30.3	225	31.5	294	18.8	86	11.3	50	8.9
	40歳～44歳	549	28.4	244	27.2	383	19.0	100	11.4	55	9.2
	45歳～49歳	569	29.4	251	26.8	431	18.7	112	11.9	63	9.6
	50歳～54歳	668	34.0	280	35.3	533	19.9	105	12.3	83	10.9
	55歳～59歳	776	31.3	314	28.2	644	19.8	137	11.7	110	9.7
	60歳～64歳	802	30.6	305	26.8	701	20.1	123	11.4	85	10.4
	65歳以上	224	24.5	67	25.4	148	18.0	43	12.7	49	11.7

(2) 利用者の状態による平均支給決定時間

居宅介護サービスを利用している場合の、認定調査項目の移動についての中間評価項目得点別に支給決定時間の平均値を算出したところ、点数が低いほど（全介助状態であるほど）居宅介護の支給決定時間が長く、点数が高いほど（自立であるほど）居宅介護の支給決定時間が短くなっていた。この傾向は身体介護の支給決定時間では同様の傾向が見られたが、家事援助では緩やかな傾向となり、通院介助では点数にかかわらず支給決定時間はほぼ同じであった。

図表 4-3 利用者の状態別の平均支給決定時間

		居宅介護支給決定時間									
				身体介護		家事援助		通院介助(身体介護あり)		通院介助(身体介護なし)	
		n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間
中間評価項目 (移動)	0点以上10点未満	531	68.0	507	56.2	180	27.3	206	13.1	2	4.0
	10点以上20点未満	283	57.9	252	41.7	144	28.9	114	14.4	5	13.2
	20点以上30点未満	204	45.8	154	31.7	122	27.1	85	13.1	3	10.3
	30点以上40点未満	210	40.7	145	29.0	133	23.8	81	12.8	8	18.5
	40点以上50点未満	225	36.7	160	24.0	145	24.9	76	9.0	11	11.5
	50点以上60点未満	210	30.5	119	20.9	145	20.5	58	11.4	23	11.6
	60点以上70点未満	268	29.3	119	21.2	195	20.6	70	12.0	38	12.7
	70点以上80点未満	363	25.1	170	19.2	239	19.0	71	10.6	48	11.8
	80点以上90点未満	472	24.4	190	22.0	324	18.0	83	10.5	61	10.2
	90点以上100点未満	331	25.9	149	21.8	206	19.3	89	9.7	46	10.4
	100点	2,089	19.0	493	14.6	1,728	16.6	73	10.4	330	9.0

また、医師意見書に記載されている利用者の状態像別の集計を行ったところ、特別な医療を必要とする者の平均支給決定時間は 54.0 時間であり、特別な医療を必要としない場合と比較して、平均支給決定時間が多くなっていた。

図表 4-4 利用者の状態別の平均支給決定時間

特別な医療(医師意見書より)		居宅介護支給決定時間									
				身体介護		家事援助		通院介助(身体介護あり)		通院介助(身体介護なし)	
		n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間
特別な医療	あり	536	54.0	397	46.1	311	24.0	174	15.4	32	15.5
	なし	4,222	28.3	1,882	27.1	2,958	18.9	732	11.0	483	9.8

※特別な医療『あり』とは、点滴の管理、中心静脈栄養、透析、ストーマの処置、酸素療法、レスピレーター、気管切開の処置、疼痛の看護、経管栄養（胃ろう）、吸引処置、モニター測定、じょくそうの処置、カテーテルのいずれかに該当するもの。

(3) 利用者の生活環境による平均支給決定時間

居宅介護サービスを利用している場合の、介護者の有無別の支給決定時間の平均値を算出したところ、居宅介護全体の支給決定量は、介護者ありの場合の平均は 32.6 時間、介護者なしの場合の平均は 28.8 時間であった。身体介護においては介護者ありの平均支給決定時間の方が長かったが、家事援助ではあまり差はなく、通院介助では介護者なしの支給平均時間の方が長くなっていた。

介護者ありの平均時間が長くなる理由としては、利用者の程度区分の重さや障害種別が影響していると考えられ、次頁で詳細に分析を行う。

図表 4-5 介護者の有無別の平均支給決定時間

		居宅介護支給決定時間									
		身体介護		家事援助		通院介助(身体介護あり)		通院介助(身体介護なし)			
		n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間
介護者	あり	3,095	32.6	1,685	31.7	1,868	19.3	736	11.7	278	9.7
	なし	1,464	28.8	496	25.5	1,285	19.6	163	12.7	201	11.2

居住する自治体の特性別に平均時間を算出したところ、規模の大きな自治体であるほど支給決定時間が長くなる傾向があった。特に身体介護では 1 万人未満の自治体と 30 万人～50 万人未満の自治体では、支給決定量におよそ倍の差があった。

自治体に所在する事業所数別の集計をみると、自治体に所在する事業所数がゼロの場合では、平均支給決定時間が長い傾向があった。該当者数が少ないが、特に通院介助で他の自治体の倍の時間数を支給決定しており、病院までに距離があり通院時間がかかることを反映していると考えられる。

図表 4-6 居住地域特性別の平均支給決定時間

市町村人口階級

		居宅介護支給決定時間									
		身体介護		家事援助		通院介助(身体介護あり)		通院介助(身体介護なし)			
		n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間
人口階級	1万人未満	69	20.7	20	18.3	49	18.5	10	8.9	8	7.9
	1万人～3万人未満	3	27.0	256	25.8	462	19.0	110	12.1	80	9.4
	3万人～5万人未満	770	25.9	291	24.1	567	18.8	115	10.1	95	11.5
	5万人～10万人未満	1,124	29.0	511	30.6	761	18.7	186	10.4	92	8.5
	10万人～30万人未満	1,483	32.4	751	31.5	969	19.3	337	12.1	161	10.1
	30万人～50万人未満	666	41.0	403	35.5	438	21.4	186	13.7	102	10.4
	50万人以上	425	35.2	226	32.2	315	20.8	62	12.2	37	10.4

自治体に所在する事業所数(居宅介護事業所)

		居宅介護支給決定時間									
		身体介護		家事援助		通院介助(身体介護あり)		通院介助(身体介護なし)			
		n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間
事業所数	0か所	9	48.0	4	33.0	9	26.4	2	21.0	1	20.0
	1～5か所	1,049	26.4	401	25.8	770	18.8	170	10.9	110	9.7
	6～10か所	429	27.3	181	30.1	297	17.7	60	10.1	41	10.1
	11～30か所	604	30.6	298	30.4	373	19.5	126	12.0	65	9.7
	31か所以上	631	35.7	319	33.5	447	19.6	168	12.6	85	11.8

※事業所数の集計は H26 収集データのみの分析のため n が少なくなっている

2) 平均支給決定時間に影響を与える複数の要因を考慮した検討

(1) 障害種別、障害程度区分、介護者の有無を考慮に入れた分析

障害種別、障害程度区分、介護者の有無の3つの要因を考慮に入れた居宅介護の平均支給決定時間を集計したところ、「身体障害のみ」の対象者では、程度区分が高くなるほど、また、介護者なしであるほど平均支給決定時間が長くなる傾向がみられた。「身体障害のみ」の対象者ではサービス別にみても、ほぼ全ての分類において介護者なしであるほうが平均支給決定時間が長い傾向がみられた。

「知的障害のみ」の対象者では、程度区分が高くなるほど、また、介護者なしであるほど平均支給決定時間が長くなる傾向がややみられた。

「精神障害のみ」の程度区分が高くなるほど平均支給決定時間が長くなる傾向がややみられたが、介護者の有無別ではあまり差はみられなかった。

図表 4-7 障害種別別、障害程度区分別、介護者の有無別の平均支給決定時間

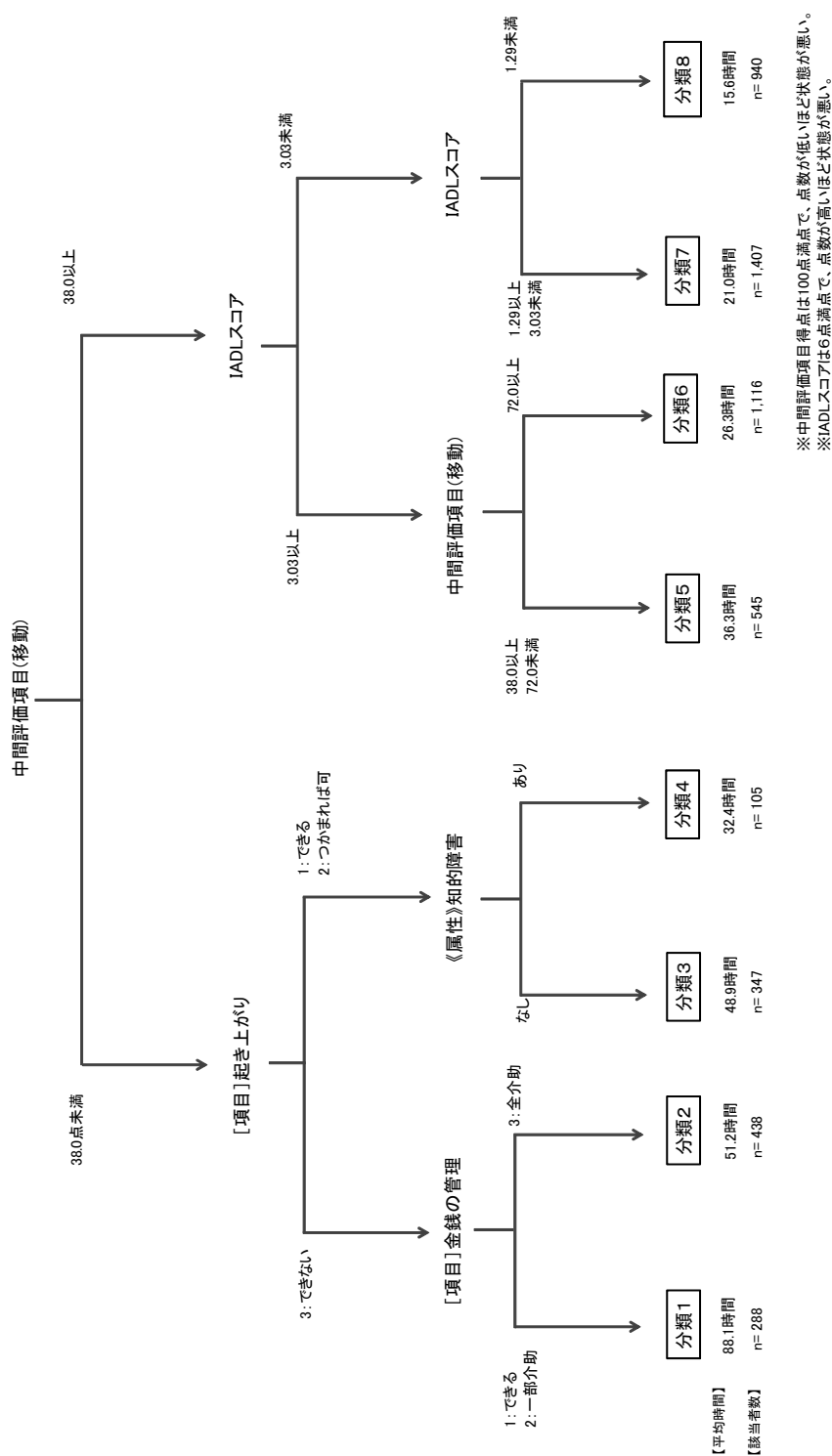
			居宅介護		身体介護		家事援助		通院介助 (身体介護あり)		通院介助 (身体介護なし)	
			n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間	n	平均時間
身体 の み	区分1	介護者あり	76	17.6	11	12.5	65	15.6	1	15.0	16	10.7
		介護者なし	82	20.8	15	12.5	76	16.6	1	12.0	22	11.3
	区分2	介護者あり	204	22.5	63	10.9	176	18.3	32	8.4	39	10.3
		介護者なし	167	24.1	38	12.3	151	19.5	21	9.8	28	14.7
	区分3	介護者あり	215	30.6	98	19.6	159	22.0	76	12.8	21	9.5
		介護者なし	120	35.3	61	17.6	112	23.3	31	11.3	15	13.7
	区分4	介護者あり	136	41.9	99	23.7	84	31.3	57	11.6	5	10.2
		介護者なし	50	64.1	30	47.7	45	32.1	12	14.3	8	19.1
	区分5	介護者あり	177	56.3	161	38.5	98	28.8	77	11.8	3	11.0
		介護者なし	26	78.3	25	53.3	18	34.2	7	11.6	1	9.0
	区分6	介護者あり	295	70.9	282	58.5	111	25.0	124	13.5	0	-
		介護者なし	35	135.7	33	101.0	29	39.8	15	17.5	0	-
知的 の み	区分1	介護者あり	69	15.7	15	9.7	60	14.3	0	-	9	9.2
		介護者なし	57	18.3	15	10.7	48	17.0	0	-	11	6.2
	区分2	介護者あり	149	20.2	33	15.2	117	18.3	6	11.7	32	9.7
		介護者なし	71	18.9	16	11.1	62	16.7	2	11.5	14	7.8
	区分3	介護者あり	110	19.9	39	16.7	72	16.8	20	10.2	17	7.6
		介護者なし	49	28.0	15	16.3	41	22.6	6	10.0	15	9.4
	区分4	介護者あり	132	25.3	86	22.8	51	19.1	39	7.0	16	8.1
		介護者なし	17	47.4	11	22.9	13	36.5	5	10.6	3	8.3
	区分5	介護者あり	101	30.7	76	30.4	31	16.4	34	8.1	1	5.0
		介護者なし	11	22.4	7	24.1	3	12.3	3	13.3	0	-
	区分6	介護者あり	83	36.6	69	36.2	17	16.8	25	8.7	2	19.0
		介護者なし	6	44.5	5	40.4	1	33.0	2	16.0	0	-
精神 の み	区分1	介護者あり	125	14.1	12	9.6	115	13.4	0	-	13	8.9
		介護者なし	138	13.0	18	8.4	125	12.7	0	-	9	7.0
	区分2	介護者あり	305	17.0	62	11.2	265	15.4	6	15.5	34	9.8
		介護者なし	263	17.8	64	10.3	237	15.5	6	12.7	25	10.4
	区分3	介護者あり	191	21.8	62	14.1	148	18.4	21	14.0	28	9.6
		介護者なし	158	22.6	54	11.2	142	18.2	13	12.2	20	10.6
	区分4	介護者あり	50	28.7	24	18.2	39	22.1	4	15.3	6	12.0
		介護者なし	56	29.9	28	15.3	47	20.2	12	13.8	10	13.4
	区分5	介護者あり	23	49.4	15	44.7	17	19.3	8	10.9	4	13.0
		介護者なし	4	50.0	2	30.0	4	32.5	1	10.0	0	-
	区分6	介護者あり	12	31.4	9	29.1	6	12.0	3	13.3	1	3.0
		介護者なし	3	18.3	1	15.0	3	13.3	0	-	0	-

(2) 認定調査項目等を考慮に入れた決定木分析

居宅介護サービスを利用しているデータに対して、支給決定時間を目的変数とし決定木分析(回帰木分析)*を行った。分析の結果、8つの分類を作成した。

*分岐の条件に認定調査項目および利用者の属性(年齢、障害種別)のいずれかを用い、平均時間に最も差のつく条件を採用しながら分岐させる手法

図表 4-8 決定木分析による居宅介護支給決定時間の分類作成



決定木分析で得られた8分類を特徴づけると下記のように表現することができる。

図表 4-9 決定木分析により作成された分類の特徴(居宅介護)

分類	平均支給決定時間	特徴
分類 1	88.1時間	寝たきりであるが「金銭の管理」など判断能力がある。
分類 2	51.2時間	寝たきりで判断能力がない。
分類 3	48.9時間	移動等に介助が必要で、知的障害はない(身体障害や精神障害)。
分類 4	32.4時間	移動等に介助が必要で、知的障害がある。
分類 5	36.3時間	移動等にやや介助が必要で手段的日常生活動作(IADL:電話、買い物、家事等)に支障がある。
分類 6	26.3時間	移動等は比較的自立しているが手段的日常生活動作(IADL:電話、買い物、家事等)に支障がある。
分類 7	21.0時間	移動等にやや介助が必要で手段的日常生活動作(IADL:電話、買い物、家事等)にやや支障がある。
分類 8	15.6時間	移動等にやや介助が必要だが手段的日常生活動作(IADL:電話、買い物、家事等)にはあまり支障がない。

なお、分類4で知的障害がある場合に平均支給決定時間が短くなっている現象は、次頁で述べる家族介護者の有無に影響を受けている可能性が高い。

(3) 利用者の生活環境等を考慮に加えた分析

決定木分析で得られた8の分類に対して、利用者の生活環境等（就労状況や生活の場所、介護者の有無（概況調査票から得られたデータ）、居住している自治体の特性など）を加えて集計を行った結果、影響のあった項目について取り上げる。

①介護者の有無

介護者の有無によって集計を行ったところ、分類1では介護者の有無によってさらに平均支給決定時間に大きく差があり、介護者なしの場合では平均140.3時間の支給となっていた。一方、分類3や分類8では介護者の有無によって支給決定の平均時間に大きな差は生じていなかった。

図表4-10 分類別、介護者の有無別の居宅介護の平均支給決定時間

		居宅介護支給決定時間	
		n	平均時間
分類1	介護者あり	218	74.2
	介護者なし	45	140.3
分類2	介護者あり	375	49.8
	介護者なし	17	64.9
分類3	介護者あり	238	48.0
	介護者なし	82	47.1
分類4	介護者あり	85	29.0
	介護者なし	9	68.9
分類5	介護者あり	360	35.9
	介護者なし	118	40.8
分類6	介護者あり	754	25.7
	介護者なし	235	29.1
分類7	介護者あり	691	20.2
	介護者なし	521	22.3
分類8	介護者あり	374	15.5
	介護者なし	437	15.9

②居住自治体の人口階級

居住自治体の人口階級別に集計を行ったところ、分類1では自治体の規模によってさらに平均支給決定時間に大きく差があり、人口50万人以上の自治体では平均137.2時間の支給となっていた。一方、分類7や分類8では自治体の人口規模によって支給決定の平均時間に大きな差は生じていなかった。

図表4-11 分類別、自治体の規模別の居宅介護の平均支給決定時間

			居宅介護支給決定時間	
			n	平均時間
分類1	人口階級	1万人未満	2	45.0
		1万人～3万人未満	25	58.7
		3万人～5万人未満	32	55.5
		5万人～10万人未満	63	73.5
		10万人～30万人未満	84	92.6
		30万人～50万人未満	58	109.3
		50万人以上	24	137.2
分類2	人口階級	1万人未満	3	18.7
		1万人～3万人未満	45	41.2
		3万人～5万人未満	59	43.1
		5万人～10万人未満	90	54.3
		10万人～30万人未満	147	52.6
		30万人～50万人未満	67	67.2
		50万人以上	27	40.9
分類3	人口階級	1万人未満	2	24.0
		1万人～3万人未満	46	47.0
		3万人～5万人未満	57	37.2
		5万人～10万人未満	59	44.8
		10万人～30万人未満	115	53.2
		30万人～50万人未満	46	61.6
		50万人以上	22	46.2
分類4	人口階級	1万人未満	1	24.0
		1万人～3万人未満	12	33.3
		3万人～5万人未満	11	17.0
		5万人～10万人未満	17	25.4
		10万人～30万人未満	35	27.2
		30万人～50万人未満	15	52.3
		50万人以上	14	45.0
分類5	人口階級	1万人未満	9	29.4
		1万人～3万人未満	69	29.1
		3万人～5万人未満	77	35.3
		5万人～10万人未満	115	35.4
		10万人～30万人未満	150	36.0
		30万人～50万人未満	79	45.3
		50万人以上	46	34.5
分類6	人口階級	1万人未満	13	21.4
		1万人～3万人未満	127	28.8
		3万人～5万人未満	138	20.9
		5万人～10万人未満	245	25.8
		10万人～30万人未満	328	26.0
		30万人～50万人未満	140	27.3
		50万人以上	125	31.7
分類7	人口階級	1万人未満	26	19.0
		1万人～3万人未満	180	20.7
		3万人～5万人未満	233	21.7
		5万人～10万人未満	311	20.0
		10万人～30万人未満	390	20.7
		30万人～50万人未満	165	22.5
		50万人以上	102	22.6
分類8	人口階級	1万人未満	13	13.2
		1万人～3万人未満	145	15.4
		3万人～5万人未満	163	16.2
		5万人～10万人未満	224	15.0
		10万人～30万人未満	234	14.6
		30万人～50万人未満	96	18.1
		50万人以上	65	16.7

3) 支給決定時間の多い利用者の状態像

居宅介護で100時間以上の支給決定がある者について認定調査項目の中間評価項目得点の分布を集計した。

「100時間以上」支給決定されている群では、「移動」、「複雑動作」、「特別介護」、「身の回り」の中間評価項目得点が「100時間未満」の群よりも低得点に分布しており、より支援を要する状態の者が多いことがわかる。特に立ち上がり、片足での立位、洗身の項目から成る「複雑動作」は、0点～10点未満に66.1%が該当しており、立位がとれない状態であることがわかる。

図表4-12 居宅介護支給決定者における支給決定量別の中間評価項目得点分布

		居宅介護			
		100時間未満		100時間以上	
		対象者数	%	対象者数	%
中間評価項目 (移動)	0点以上10点未満	413	8.4%	118	47.6%
	10点以上20点未満	240	4.9%	43	17.3%
	20点以上30点未満	180	3.6%	24	9.7%
	30点以上40点未満	195	3.9%	15	6.0%
	40点以上50点未満	213	4.3%	12	4.8%
	50点以上60点未満	204	4.1%	6	2.4%
	60点以上70点未満	258	5.2%	10	4.0%
	70点以上80点未満	360	7.3%	3	1.2%
	80点以上90点未満	466	9.4%	6	2.4%
	90点以上100点未満	325	6.6%	6	2.4%
	100点	2084	42.2%	5	2.0%
計		4,938	100.0%	248	100.0%

		居宅介護			
		100時間未満		100時間以上	
		対象者数	%	対象者数	%
中間評価項目 (身の回り)	0点以上10点未満	483	9.8%	52	21.0%
	10点以上20点未満	268	5.4%	34	13.7%
	20点以上30点未満	193	3.9%	35	14.1%
	30点以上40点未満	213	4.3%	42	16.9%
	40点以上50点未満	253	5.1%	24	9.7%
	50点以上60点未満	310	6.3%	18	7.3%
	60点以上70点未満	409	8.3%	15	6.0%
	70点以上80点未満	565	11.4%	7	2.8%
	80点以上90点未満	979	19.8%	15	6.0%
	90点以上100点未満	640	13.0%	2	0.8%
	100点	625	12.7%	4	1.6%
計		4,938	100.0%	248	100.0%

		居宅介護			
		100時間未満		100時間以上	
		対象者数	%	対象者数	%
中間評価項目 (複雑動作)	0点以上10点未満	714	14.5%	164	66.1%
	10点以上20点未満	221	4.5%	30	12.1%
	20点以上30点未満	225	4.6%	17	6.9%
	30点以上40点未満	315	6.4%	12	4.8%
	40点以上50点未満	655	13.3%	7	2.8%
	50点以上60点未満	87	1.8%	4	1.6%
	60点以上70点未満	143	2.9%	0	0.0%
	70点以上80点未満	510	10.3%	9	3.6%
	80点以上90点未満	0	0.0%	0	0.0%
	90点以上100点未満	1586	32.1%	3	1.2%
	100点	482	9.8%	2	0.8%
計		4,938	100.0%	248	100.0%

		居宅介護			
		100時間未満		100時間以上	
		対象者数	%	対象者数	%
中間評価項目 (意思疎通)	0点以上10点未満	63	1.3%	4	1.6%
	10点以上20点未満	74	1.5%	5	2.0%
	20点以上30点未満	109	2.2%	11	4.4%
	30点以上40点未満	171	3.5%	9	3.6%
	40点以上50点未満	148	3.0%	11	4.4%
	50点以上60点未満	155	3.1%	6	2.4%
	60点以上70点未満	161	3.3%	6	2.4%
	70点以上80点未満	299	6.1%	12	4.8%
	80点以上90点未満	1047	21.2%	37	14.9%
	90点以上100点未満	603	12.2%	25	10.1%
	100点	2108	42.7%	122	49.2%
計		4,938	100.0%	248	100.0%

		居宅介護			
		100時間未満		100時間以上	
		対象者数	%	対象者数	%
中間評価項目 (特別介護)	0点以上10点未満	29	0.6%	5	2.0%
	10点以上20点未満	141	2.9%	36	14.5%
	20点以上30点未満	221	4.5%	43	17.3%
	30点以上40点未満	323	6.5%	41	16.5%
	40点以上50点未満	287	5.8%	50	20.2%
	50点以上60点未満	224	4.5%	20	8.1%
	60点以上70点未満	257	5.2%	16	6.5%
	70点以上80点未満	371	7.5%	14	5.6%
	80点以上90点未満	398	8.1%	9	3.6%
	90点以上100点未満	677	13.7%	6	2.4%
	100点	2010	40.7%	8	3.2%
計		4,938	100.0%	248	100.0%

		居宅介護			
		100時間未満		100時間以上	
		対象者数	%	対象者数	%
中間評価項目 (行動)	0点以上10点未満	0	0.0%	0	0.0%
	10点以上20点未満	1	0.0%	0	0.0%
	20点以上30点未満	6	0.1%	2	0.8%
	30点以上40点未満	31	0.6%	1	0.4%
	40点以上50点未満	45	0.9%	1	0.4%
	50点以上60点未満	110	2.2%	1	0.4%
	60点以上70点未満	183	3.7%	8	3.2%
	70点以上80点未満	421	8.5%	11	4.4%
	80点以上90点未満	955	19.3%	31	12.5%
	90点以上100点未満	1756	35.6%	78	31.5%
	100点	1430	29.0%	115	46.4%
計		4,938	100.0%	248	100.0%

2. 重度訪問介護の支給決定量に係る要因分析

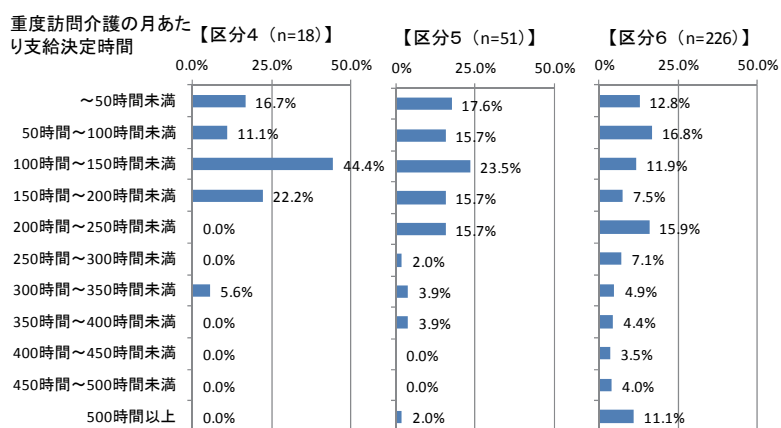
1) 基本集計

(1) 利用者の属性による平均支給決定時間

重度訪問介護サービスを利用している場合の、利用者の障害程度区分別の支給決定時間の平均値を算出したところ、区分4は122.2時間、区分5は151.5時間、区分6は232.4時間であった。

図表4-13 利用者の障害程度区分別の平均支給決定時間

		障害程度区分		
		区分4	区分5	区分6
重度訪問 支給決定時間 (1か月あたり)	平均値	122.2	151.5	232.4
	最大値	311	744	892
	第3四分位	172	200	330
	中央値	114	135	200
	第1四分位	80	60	75
	最小値	5	10	8
	対象者数	18	51	226



また、支給決定時間の平均値は、35歳～54歳にかけてが最も大きくなる傾向にあった。

図表4-14 障害種別・年齢階級別の平均支給決定時間

		重度訪問介護支給決定時間	
		n	平均時間
年齢階級	20歳未満	6	130.8
	20歳～24歳	30	162.5
	25歳～29歳	32	163.0
	30歳～34歳	24	156.9
	35歳～39歳	36	242.5
	40歳～44歳	24	219.5
	45歳～49歳	33	299.1
	50歳～54歳	44	236.2
	55歳～59歳	25	197.2
	60歳～64歳	28	223.6
	65歳以上	14	172.4

（２）利用者の状態による平均支給決定時間

重度訪問介護サービスを利用している場合の、利用者の状態別の支給決定時間の平均値を算出したところ、認定調査項目の特別介護についての中間評価項目得点別の集計では、点数が低いほど（全介助状態であるほど）重度訪問介護の支給決定時間が長く、点数が高いほど（自立であるほど）重度訪問介護の支給決定時間が短くなっていた。

図表 4－15 利用者の状態別の支給決定時間

		重度訪問介護支給決定時間	
		n	平均時間
中間評価項目 (特別介護)	0点以上10点未満	14	240.6
	10点以上20点未満	52	266.0
	20点以上30点未満	78	232.0
	30点以上40点未満	59	204.8
	40点以上50点未満	51	189.3
	50点以上60点未満	14	109.5
	60点以上70点未満	17	155.7
	70点以上80点未満	11	116.4
	80点以上	0	0.0

また、医師意見書に記載されている利用者の状態像別の集計を行ったところ、特別な医療を必要とする者の平均支給決定時間は 241.2 時間であり、特別な医療を必要としない場合と比較して、平均支給決定時間が多くなっていた。

図表 4－16 利用者の状態別の支給決定時間

特別な医療(医師意見書より)

		重度訪問介護支給決定時間	
		n	平均時間
特別な医療	あり	89	241.2
	なし	161	217.1

※特別な医療『あり』とは、点滴の管理、中心静脈栄養、透析、ストーマの処置、酸素療法、レスピレーター、気管切開の処置、疼痛の看護、経管栄養（胃ろう）、吸引処置、モニター測定、じょくそうの処置、カテーテルのいずれかに該当するもの。

(3) 利用者の生活環境による平均支給決定時間

重度訪問介護サービスを利用している場合の、介護者の有無別の支給決定時間の平均値を算出したところ、介護者ありの場合の平均は 195.8 時間、介護者なしの場合の平均は 287.1 時間であった。

図表 4-17 介護者の有無別の支給決定時間

		重度訪問介護支給決定時間	
		n	平均時間
介護者	あり	225	195.8
	なし	49	287.1

また、居住する自治体の特性別に平均時間を算出したところ、規模の大きな自治体であるほど支給決定時間が長くなる傾向があった。人口が 5 万人未満までの階級の自治体と 10 万人以上の階級の自治体では、支給決定量におよそ倍の差があった。

また、自治体が支給決定基準を設けているほど、支給決定時間が多くなっていたが、支給決定基準を設けている自治体は、大都市で、重度訪問介護を積極的に利用できる地域であると推測できる。

図表 4-18 居住地域特性別の支給決定時間

市町村人口階級

		重度訪問介護支給決定時間	
		n	平均時間
人口階級	1万人未満	3	113.7
	1万人～3万人未満	3	139.8
	3万人～5万人未満	22	104.5
	5万人～10万人未満	43	182.4
	10万人～30万人未満	98	218.8
	30万人～50万人未満	47	221.6
	50万人以上	59	284.9

可住地人口密度(1平方キロメートルあたり)

		重度訪問介護支給決定時間	
		n	平均時間
人口階級	500人未満	22	120.8
	500人～1000人未満	51	171.1
	1000人～1500人未満	21	156.5
	1500人～2000人未満	68	173.2
	2000人～3000人未満	40	199.9
	3000人	94	298.5

自治体に所在する事業所数(重度訪問介護事業所)

		重度訪問介護支給決定時間	
		n	平均時間
事業所数	0か所	1	200.0
	1～5か所	46	131.7
	6～10か所	18	207.3
	11～30か所	30	195.1
	31か所以上	69	303.2

自治体における支給決定基準の有無

		重度訪問介護支給決定時間	
		n	平均時間
支給決定基準	あり	99	257.0
	なし	57	151.8

※事業所数の集計は H26 収集データのための分析のため n が少なくなっている

2) 平均支給決定時間に影響を与える複数の要因を考慮した検討

(1) 程度区分、介護者の有無を考慮に入れた分析

障害程度区分、介護者の有無の2つの要因を考慮に入れた平均支給決定時間を集計したところ、障害程度区分が高くなるほど、また、介護者なしであるほど平均支給決定時間が長くなる傾向がみられた。

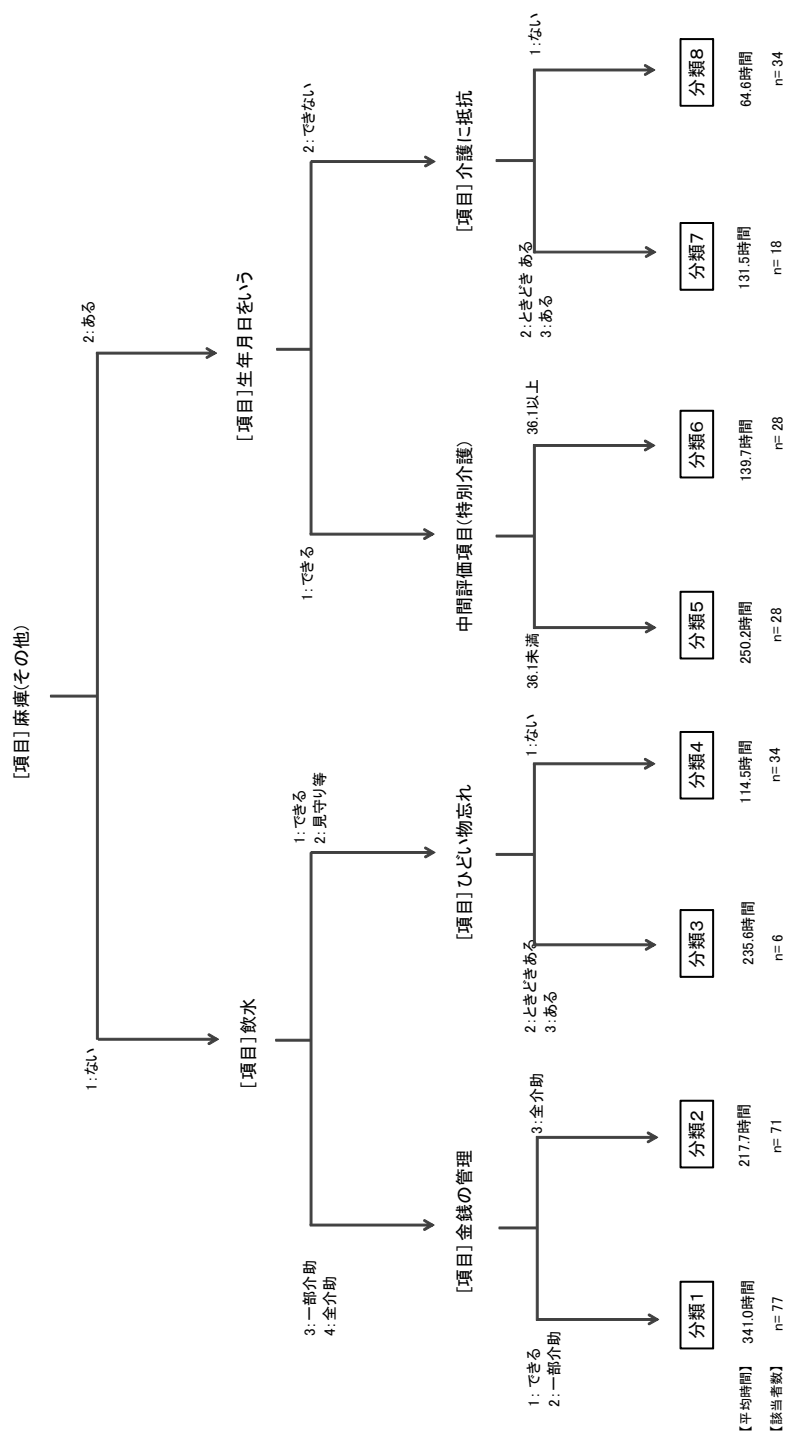
図表 4 - 19 程度区分別、介護者の有無別の平均支給決定時間

		重度訪問介護	
		n	平均時間
区分4	介護者あり	12	115.9
	介護者なし	5	140.6
区分5	介護者あり	36	117.5
	介護者なし	11	242.3
区分6	介護者あり	176	218.1
	介護者なし	33	324.3

(2) 認定調査項目等を考慮に入れた決定木分析

重度訪問介護サービスを利用しているデータに対して、支給決定時間を目的変数とし決定木分析（回帰木分析）を行った。分析の結果、8つの分類を作成した。なお、四肢の麻痺やADL項目が分岐に採用されていないが、これは、重度訪問介護の支給決定要件である「二肢以上の麻痺」「歩行」「移乗」「排尿」「排便」のいずれも「できる」以外は全てのデータが満たしているとの前提条件があるため、分類には影響を与えなかったと考えられる。

図表 4-20 決定木分析による重度訪問介護支給決定時間の分類作成



決定木分析で得られた8分類を特徴づけると下記のように表現することができる。

図表 4 - 21 決定木分析により作成された分類の特徴(重度訪問介護)

分類	平均支給決定時間	特徴
分類 1	341.0時間	飲水にも介助が必要なほど介護レベルは高いが、「金銭の管理」など判断能力がある。
分類 2	217.7時間	飲水にも介助が必要なほど介護レベルは高く、判断能力がない。
分類 3	235.6時間	自身で飲水できる程度には自立しているが、ひどい物忘れが時々以上ある。
分類 4	114.5時間	自身で飲水できる程度には自立しており、ひどい物忘れはない。
分類 5	250.2時間	食事摂取、排泄などに十分な身体介護が必要。
分類 6	139.7時間	食事摂取、排泄などは一部介助が必要。
分類 7	131.5時間	認知機能にも障害があり、介護に対する抵抗がある。
分類 8	64.6時間	認知機能にも障害があるが、介護に対する抵抗はない。

(3) 利用者の生活環境等を考慮に加えた分析

決定木分析で得られた8の分類に対して、利用者の生活環境等（就労状況や生活の場所、介護者の有無（概況調査票から得られたデータ）、居住している自治体の特性など）を加えて集計を行った結果、影響のあった項目について取り上げる。

①生活の場所（単身・同居の別）

サンプル数が少ない分類が多いことに留意は必要であるが、ほぼ全ての分類で生活の場所が「自宅（単身）」では「自宅（家族等と同居）」よりも支給決定時間が大きい傾向にあった。特にサンプル数の多い分類1では、「自宅（家族等と同居）」では平均 210.0 時間が支給決定されていたのに対し、「自宅（単身）」では平均 385.7 時間となっていた。

図表 4 - 22 分類別、生活の場所別(独居・同居)の重度訪問介護の平均支給決定時間

			重度訪問介護 支給決定時間					重度訪問介護 支給決定時間	
			n	平均時間				n	平均時間
分類1	生活の 場所	自宅(単身)	30	385.7	分類5	生活の 場所	自宅(単身)	6	370.9
		自宅(家族等と同居)	25	210.0			自宅(家族等と同居)	17	226.0
分類2	生活の 場所	自宅(単身)	6	292.1	分類6	生活の 場所	自宅(単身)	6	146.1
		自宅(家族等と同居)	53	174.3			自宅(家族等と同居)	17	120.7
分類3	生活の 場所	自宅(単身)	4	283.1	分類7	生活の 場所	自宅(単身)	2	301.3
		自宅(家族等と同居)	2	140.5			自宅(家族等と同居)	15	106.4
分類4	生活の 場所	自宅(単身)	6	194.0	分類8	生活の 場所	自宅(単身)	1	20.0
		自宅(家族等と同居)	23	90.6			自宅(家族等と同居)	30	61.9

3) 支給決定時間の多い利用者の状態像

重度訪問介護で 400 時間以上の支給決定がある者について認定調査項目の中間評価項目得点の分布を集計した。

「400 時間以上」支給決定されている群では、「移動」、「複雑動作」、「特別介護」、「身の回り」の中間評価項目得点が「400 時間未満」の群よりも低得点に分布しており、より支援を要する状態の者が多いことがわかる。特に立ち上がり、片足での立位、洗身の項目から成る「複雑動作」は、0 点～10 点未満に 100%が該当しているほか、起き上がり、座位保持等を含む「移動」の項目得点も 0 点～10 点未満に 93.0%が該当しており、ほぼ動きが取れない者であることがわかる。

図表 4 - 23 重度訪問介護支給決定者における支給決定量別の中間評価項目得点分布

		重度訪問介護			
		400時間未満		400時間以上	
		対象者数	%	対象者数	%
中間評価項目 (移動)	0点以上10点未満	158	62.5%	40	93.0%
	10点以上20点未満	44	17.4%	2	4.7%
	20点以上30点未満	19	7.5%	0	0.0%
	30点以上40点未満	13	5.1%	1	2.3%
	40点以上50点未満	12	4.7%	0	0.0%
	50点以上60点未満	3	1.2%	0	0.0%
	60点以上70点未満	3	1.2%	0	0.0%
	70点以上80点未満	1	0.4%	0	0.0%
	80点以上90点未満	0	0.0%	0	0.0%
	90点以上100点未満	0	0.0%	0	0.0%
	100点	0	0.0%	0	0.0%
	計	253	100.0%	43	100.0%

		重度訪問介護			
		400時間未満		400時間以上	
		対象者数	%	対象者数	%
中間評価項目 (身の回り)	0点以上10点未満	93	36.8%	9	20.9%
	10点以上20点未満	37	14.6%	14	32.6%
	20点以上30点未満	56	22.1%	17	39.5%
	30点以上40点未満	23	9.1%	1	2.3%
	40点以上50点未満	12	4.7%	0	0.0%
	50点以上60点未満	12	4.7%	2	4.7%
	60点以上70点未満	11	4.3%	0	0.0%
	70点以上80点未満	4	1.6%	0	0.0%
	80点以上90点未満	3	1.2%	0	0.0%
	90点以上100点未満	2	0.8%	0	0.0%
	100点	0	0.0%	0	0.0%
	計	253	100.0%	43	100.0%

		重度訪問介護			
		400時間未満		400時間以上	
		対象者数	%	対象者数	%
中間評価項目 (複雑動作)	0点以上10点未満	205	81.0%	43	100.0%
	10点以上20点未満	21	8.3%	0	0.0%
	20点以上30点未満	14	5.5%	0	0.0%
	30点以上40点未満	8	3.2%	0	0.0%
	40点以上50点未満	5	2.0%	0	0.0%
	50点以上60点未満	0	0.0%	0	0.0%
	60点以上70点未満	0	0.0%	0	0.0%
	70点以上80点未満	0	0.0%	0	0.0%
	80点以上90点未満	0	0.0%	0	0.0%
	90点以上100点未満	0	0.0%	0	0.0%
	100点	0	0.0%	0	0.0%
	計	253	100.0%	43	100.0%

		重度訪問介護			
		400時間未満		400時間以上	
		対象者数	%	対象者数	%
中間評価項目 (意思疎通)	0点以上10点未満	21	8.3%	3	7.0%
	10点以上20点未満	11	4.3%	0	0.0%
	20点以上30点未満	10	4.0%	0	0.0%
	30点以上40点未満	16	6.3%	1	2.3%
	40点以上50点未満	10	4.0%	1	2.3%
	50点以上60点未満	10	4.0%	1	2.3%
	60点以上70点未満	9	3.6%	0	0.0%
	70点以上80点未満	15	5.9%	2	4.7%
	80点以上90点未満	24	9.5%	4	9.3%
	90点以上100点未満	31	12.3%	10	23.3%
	100点	96	37.9%	21	48.8%
	計	253	100.0%	43	100.0%

		重度訪問介護			
		400時間未満		400時間以上	
		対象者数	%	対象者数	%
中間評価項目 (特別介護)	0点以上10点未満	11	4.3%	3	7.0%
	10点以上20点未満	40	15.8%	12	27.9%
	20点以上30点未満	61	24.1%	17	39.5%
	30点以上40点未満	52	20.6%	7	16.3%
	40点以上50点未満	47	18.6%	4	9.3%
	50点以上60点未満	14	5.5%	0	0.0%
	60点以上70点未満	17	6.7%	0	0.0%
	70点以上80点未満	11	4.3%	0	0.0%
	80点以上90点未満	0	0.0%	0	0.0%
	90点以上100点未満	0	0.0%	0	0.0%
	100点	0	0.0%	0	0.0%
	計	253	100.0%	43	100.0%

		重度訪問介護			
		400時間未満		400時間以上	
		対象者数	%	対象者数	%
中間評価項目 (行動)	0点以上10点未満	0	0.0%	0	0.0%
	10点以上20点未満	0	0.0%	0	0.0%
	20点以上30点未満	0	0.0%	0	0.0%
	30点以上40点未満	1	0.4%	0	0.0%
	40点以上50点未満	1	0.4%	0	0.0%
	50点以上60点未満	1	0.4%	0	0.0%
	60点以上70点未満	5	2.0%	0	0.0%
	70点以上80点未満	5	2.0%	1	2.3%
	80点以上90点未満	20	7.9%	2	4.7%
	90点以上100点未満	72	28.5%	15	34.9%
	100点	148	58.5%	25	58.1%
	計	253	100.0%	43	100.0%

3. 行動援護の支給決定量に係る要因分析

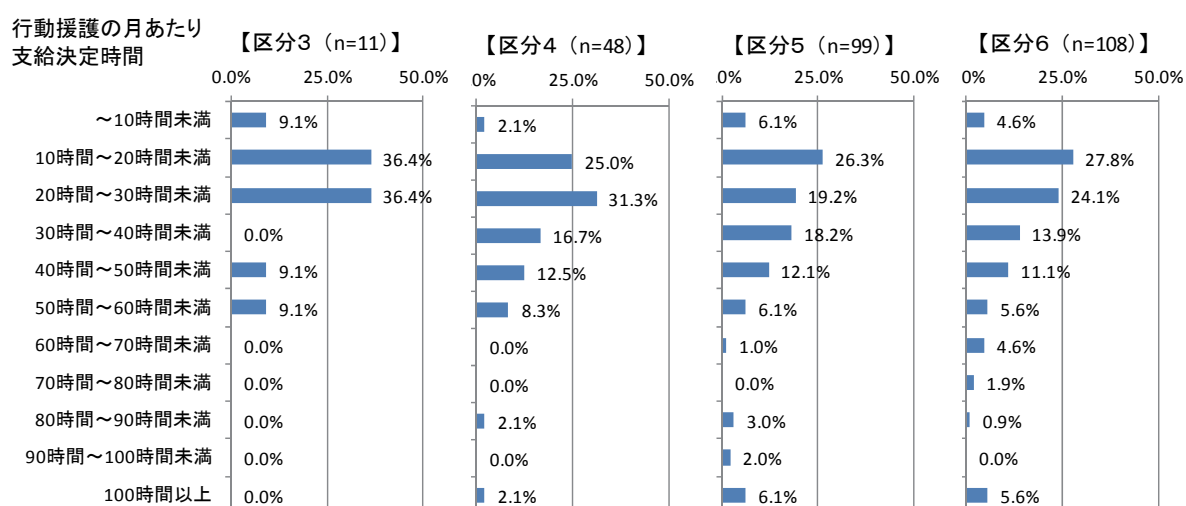
1) 基本集計

(1) 利用者の属性による平均支給決定時間

行動援護を利用している場合の、利用者の障害程度区分別の支給決定時間の平均値を算出したところ、区分3は21.2時間、区分4は31.0時間、区分5は36.4時間、区分6は32.7時間であった。分布を比較すると、区分4以上では支給決定時間に大きな差は見られなかった。

図表4-24 利用者の障害程度区分別の平均支給決定時間

		障害程度区分			
		区分3	区分4	区分5	区分6
行動援護 支給決定時間 (1か月あたり)	平均値	21.2	31.0	36.4	32.7
	最大値	50	177	210	150
	第3四分位	20	39	40	40
	中央値	20	25	26	25
	第1四分位	15	16	15	15
	最小値	8	5	3	5
	対象者数	11	48	99	108



また、利用者の障害種別別の支給決定時間の平均値を算出したところ、知的のみは 33.1 時間、精神のみは 46.7 時間であった。ただし、精神障害で行動援護を利用している者は 13 人（重複含む）しかいないため、データを読む際には留意が必要である。

また、支給決定時間の平均値は、40 歳未満の若い階級で大きくなる傾向にあった。

図表 4 - 25 障害種別・年齢階級別の平均支給決定時間

障害種別		行動援護支給決定時間	
		n	平均時間
障害種別	身体(重複を含む)	48	34.1
	知的(重複を含む)	266	33.1
	精神(重複を含む)	13	31.2
	身体のみ	0	-
	知的のみ	209	33.1
	精神のみ	3	46.7
	身体・知的	47	34.4
	身体・精神	0	-
	知的・精神	9	27.3
	身体・知的・精神	1	20.0

年齢階級		行動援護支給決定時間	
		n	平均時間
年齢階級	20歳未満	55	37.2
	20歳～24歳	57	31.0
	25歳～29歳	54	38.9
	30歳～34歳	49	32.8
	35歳～39歳	34	30.4
	40歳～44歳	7	19.9
	45歳～49歳	8	18.6
	50歳～54歳	2	22.5
	55歳～59歳	1	20.0
	60歳～64歳	1	10.0
	65歳以上	1	25.0

（２）利用者の状態による平均支給決定時間

行動援護を利用している場合の、利用者の状態別の支給決定時間の平均値を算出したところ、特別な医療を必要とする者の平均支給決定時間は 22.4 時間となっていた。行動上の障害および精神・神経症状については、医師が「あり」、「なし」いずれの回答をした場合でも、支給決定時間に差は見られなかった。

図表 4 - 26 利用者の状態別の支給決定時間

特別な医療(医師意見書より)		行動援護支給決定時間	
		n	平均時間
特別な医療	あり	5	22.4
	なし	253	32.9

※特別な医療『あり』とは、点滴の管理、中心静脈栄養、透析、ストーマの処置、酸素療法、レスピレーター、気管切開の処置、疼痛の看護、経管栄養(胃ろう)、吸引処置、モニター測定、じよくその処置、カテーテルのいずれかに該当するもの。

行動上の障害(医師意見書より)		行動援護支給決定時間	
		n	平均時間
行動上の障害	あり	220	32.2
	なし	31	33.6

※行動上の障害『あり』とは、昼夜逆転、暴言、暴行、介護への抵抗、徘徊、火の不始末、不潔行為、異食、性的行動障害、その他のいずれかに該当するもの。

精神・神経症状(医師意見書より)		行動援護支給決定時間	
		n	平均時間
精神・神経症状	あり	217	32.9
	なし	36	32.2

※精神・神経症状『あり』とは、せん妄、傾眠傾向、幻視・幻聴、妄想、失見当識、失認、失行、先行、認知障害、記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害、その他のいずれかに該当するもの。

(3) 利用者の生活環境による平均支給決定時間

介護者の有無別の支給決定時間の平均値を算出したところ、介護者なしの場合の平均は 32.9 時間、介護者ありの場合の平均は 24.4 時間であった。これは、介護者なしの場合はグループホームで生活している等、行動援護以外のサービスによる見守りが提供されているためと考えられる。

図表 4-27 介護者の有無別の支給決定時間

		行動援護支給決定時間	
		n	平均時間
介護者	あり	234	32.9
	なし	13	24.4

また、居住する自治体の特性別に平均時間を算出したところ、人口 50 万人以上の大都市では平均支給決定時間が 49.3 時間と大きかったが、それ以外の自治体には大きな差は見られなかった。また、自治体に所在する事業所数の分布で比較しても、地域差はそれほど大きくなかった。

図表 4-28 居住地域特性別の支給決定時間

市町村人口階級

		行動援護支給決定時間	
		n	平均時間
人口階級	1万人未満	1	20.0
	1万人～3万人未満	3	29.7
	3万人～5万人未満	35	35.6
	5万人～10万人未満	58	29.9
	10万人～30万人未満	91	34.3
	30万人～50万人未満	48	30.3
	50万人以上	15	49.3

自治体に所在する事業所数(行動援護事業所)

		行動援護支給決定時間	
		n	平均時間
事業所数	0か所	14	34.2
	1か所	42	33.2
	2か所	28	36.8
	3～5か所	36	32.8
	6か所以上	58	38.0

※事業所数の集計は H26 収集データのための分析のため n が少なくなっている

2) 平均支給決定時間に影響を与える複数の要因を考慮した検討

(1) 障害程度区分、介護者の有無を考慮に入れた分析

障害程度区分、介護者の有無の2つの要因を考慮に入れた平均支給決定時間を集計したところ、介護者がいない方が平均支給決定時間は長くなっていた。

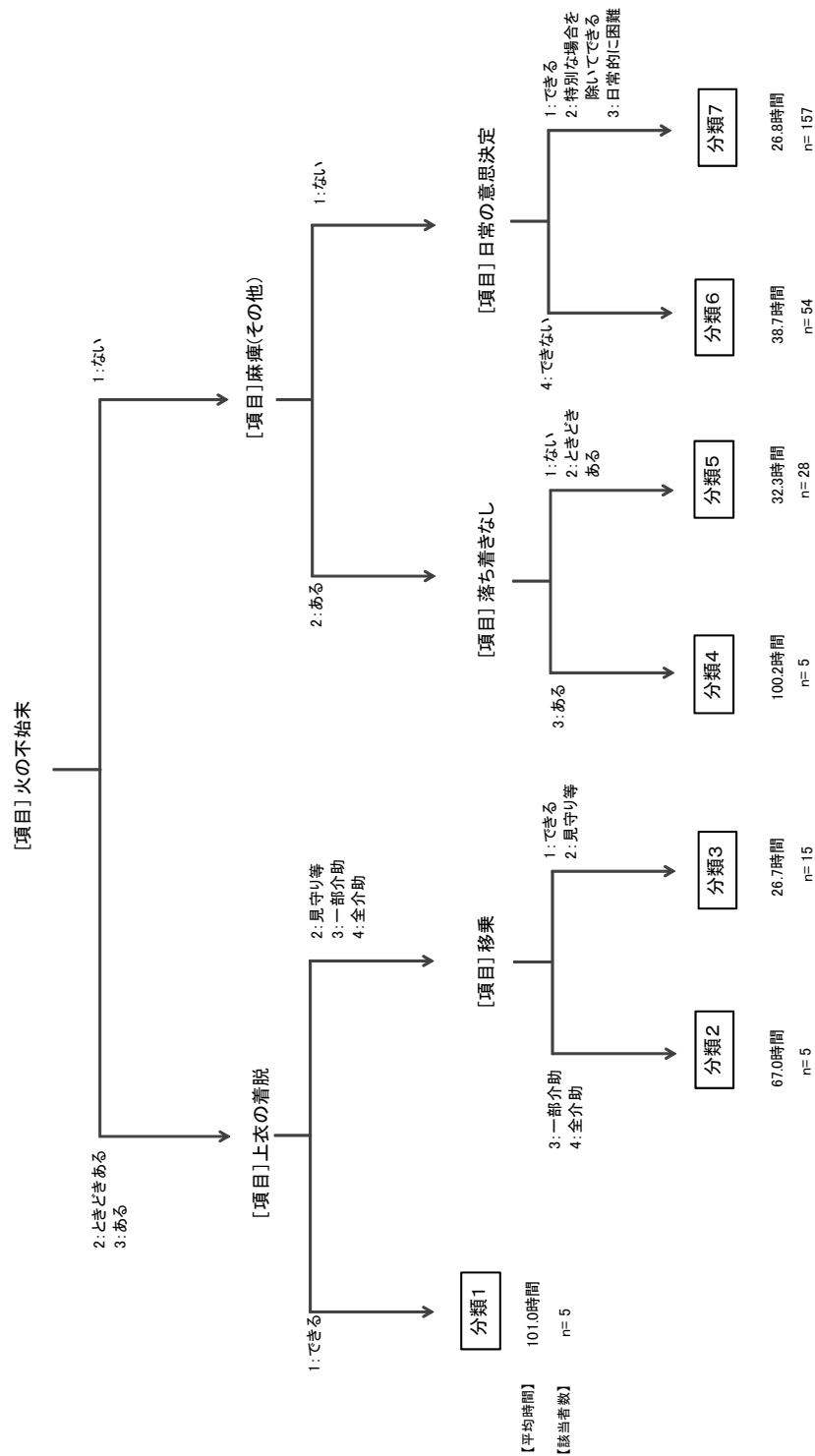
図表 4 - 29 程度区分別、介護者の有無別の平均支給決定時間

		行動援護	
		n	平均時間
区分3	介護者あり	11	21.2
	介護者なし	0	-
区分4	介護者あり	44	32.3
	介護者なし	2	20.0
区分5	介護者あり	87	34.7
	介護者なし	6	23.5
区分6	介護者あり	90	32.8
	介護者なし	5	27.2

(2) 認定調査項目等を考慮に入れた決定木分析

行動援護を利用しているデータに対して、支給決定時間を目的変数とし決定木分析（回帰木分析）を行った。分析の結果、7の分類を作成した。

図表 4 - 30 決定木分析による行動援護支給決定時間の分類作成



決定木分析で得られた7分類を特徴づけると下記のように表現することができる。

図表 4 - 31 決定木分析により作成された分類の特徴(行動援護)

分類	平均支給決定時間	特徴
分類 1	101.0時間	「上衣の着脱」などの身の回りの動作は自立しているが、「火の不始末」などの危険がある。
分類 2	67.0時間	「火の不始末」などの危険があり、「上衣の着脱」などの身の回りの動作にも見守り以上の支援が必要であり、「移乗」に介助が必要。
分類 3	26.7時間	「火の不始末」などの危険があり、「上衣の着脱」などの身の回りの動作にも見守り以上の支援が必要であるが、「移乗」など大きな動きは比較的自立している。
分類 4	100.2時間	「火の不始末」などの危険はなく、動きが制限されている。
分類 5	32.3時間	「火の不始末」などの危険はないが、「落ち着き」がない。
分類 6	38.7時間	「火の不始末」などの危険はないが、「日常の意思決定」はできない。
分類 7	26.8時間	「火の不始末」などの危険はなく、「日常の意思決定」はできないことはない。

(3) 利用者の生活環境等を考慮に加えた分析

決定木分析で得られた7の分類に対して、利用者の生活環境等（就労状況や生活の場所、介護者の有無（概況調査票から得られたデータ）、居住している自治体の特性など）を加えて集計を行った結果、影響のあった項目について取り上げる。

①生活場所

サンプル数が少ない分類が多いことに留意は必要であるが、サンプル数の比較的多い分類7では、自宅（単身）の場合に支給決定量が大きく平均39.0時間が支給決定されており、続いて自宅（家族等と同居）の場合に平均27.0時間が支給決定されていた。

図表4-32 分類別、介護者の有無別の行動援護の平均支給決定時間

			行動援護支給決定時間	
			n	平均時間
分類1	生活場所	自宅(単身)	0	－
		自宅(家族等と同居)	4	77.3
		グループホーム	0	－
		ケアホーム	0	－
		入所施設	0	－
分類2	生活場所	自宅(単身)	0	－
		自宅(家族等と同居)	2	102.5
		グループホーム	0	－
		ケアホーム	2	51.0
		入所施設	0	－
分類3	生活場所	自宅(単身)	0	－
		自宅(家族等と同居)	10	30.0
		グループホーム	0	－
		ケアホーム	0	－
		入所施設	0	－
分類4	生活場所	自宅(単身)	1	210.0
		自宅(家族等と同居)	4	72.8
		グループホーム	0	－
		ケアホーム	0	－
		入所施設	0	－
分類5	生活場所	自宅(単身)	0	－
		自宅(家族等と同居)	21	34.5
		グループホーム	0	－
		ケアホーム	4	15.0
		入所施設	1	20.0
分類6	生活場所	自宅(単身)	0	－
		自宅(家族等と同居)	39	40.3
		グループホーム	1	40.0
		ケアホーム	8	41.0
		入所施設	1	10.0
分類7	生活場所	自宅(単身)	5	39.0
		自宅(家族等と同居)	122	27.0
		グループホーム	1	16.0
		ケアホーム	17	25.8
		入所施設	6	23.0

3) 支給決定時間の多い利用者の状態像

行動援護で 60 時間以上の支給決定がある者について認定調査項目の中間評価項目得点の分布を集計した。

「60 時間以上」支給決定されている群では、「特別介護」、「身の回り」、「意思疎通」、「行動」の中間評価項目得点が「60 時間未満」の群よりもやや低得点に分布しており、より支援を要する状態の者が多いことがわかる。特に金銭の管理、日常の意思決定などの項目から成る「身の回り」は、0 点～10 点未満に 42.9%が該当しており、細かな作業や意思決定に対しての支援が必要であると推測される。

図表 4 - 33 行動援護支給決定者における支給決定量別の中間評価項目得点分布

		行動援護			
		60時間未満		60時間以上	
		対象者数	%	対象者数	%
中間評価項目 (移動)	0点以上10点未満	8	3.3%	1	3.6%
	10点以上20点未満	1	0.4%	2	7.1%
	20点以上30点未満	6	2.5%	0	0.0%
	30点以上40点未満	5	2.1%	0	0.0%
	40点以上50点未満	3	1.2%	2	7.1%
	50点以上60点未満	6	2.5%	0	0.0%
	60点以上70点未満	13	5.4%	1	3.6%
	70点以上80点未満	53	22.0%	8	28.6%
	80点以上90点未満	76	31.5%	12	42.9%
	90点以上100点未満	45	18.7%	0	0.0%
	100点	25	10.4%	2	7.1%
	計	241	100.0%	28	100.0%

		行動援護			
		60時間未満		60時間以上	
		対象者数	%	対象者数	%
中間評価項目 (身の回り)	0点以上10点未満	69	28.6%	12	42.9%
	10点以上20点未満	79	32.8%	9	32.1%
	20点以上30点未満	43	17.8%	2	7.1%
	30点以上40点未満	17	7.1%	2	7.1%
	40点以上50点未満	17	7.1%	3	10.7%
	50点以上60点未満	10	4.1%	0	0.0%
	60点以上70点未満	5	2.1%	0	0.0%
	70点以上80点未満	1	0.4%	0	0.0%
	80点以上90点未満	0	0.0%	0	0.0%
	90点以上100点未満	0	0.0%	0	0.0%
	100点	0	0.0%	0	0.0%
	計	241	100.0%	28	100.0%

		行動援護			
		60時間未満		60時間以上	
		対象者数	%	対象者数	%
中間評価項目 (複雑動作)	0点以上10点未満	15	6.2%	1	3.6%
	10点以上20点未満	17	7.1%	3	10.7%
	20点以上30点未満	8	3.3%	4	14.3%
	30点以上40点未満	3	1.2%	0	0.0%
	40点以上50点未満	29	12.0%	0	0.0%
	50点以上60点未満	28	11.6%	6	21.4%
	60点以上70点未満	3	1.2%	0	0.0%
	70点以上80点未満	82	34.0%	13	46.4%
	80点以上90点未満	0	0.0%	0	0.0%
	90点以上100点未満	11	4.6%	0	0.0%
	100点	45	18.7%	1	3.6%
	計	241	100.0%	28	100.0%

		行動援護			
		60時間未満		60時間以上	
		対象者数	%	対象者数	%
中間評価項目 (意思疎通)	0点以上10点未満	69	28.6%	12	42.9%
	10点以上20点未満	79	32.8%	9	32.1%
	20点以上30点未満	43	17.8%	2	7.1%
	30点以上40点未満	17	7.1%	2	7.1%
	40点以上50点未満	17	7.1%	3	10.7%
	50点以上60点未満	10	4.1%	0	0.0%
	60点以上70点未満	5	2.1%	0	0.0%
	70点以上80点未満	1	0.4%	0	0.0%
	80点以上90点未満	0	0.0%	0	0.0%
	90点以上100点未満	0	0.0%	0	0.0%
	100点	0	0.0%	0	0.0%
	計	241	100.0%	28	100.0%

		行動援護			
		60時間未満		60時間以上	
		対象者数	%	対象者数	%
中間評価項目 (特別介護)	0点以上10点未満	1	0.4%	0	0.0%
	10点以上20点未満	4	1.7%	1	3.6%
	20点以上30点未満	24	10.0%	5	17.9%
	30点以上40点未満	71	29.5%	9	32.1%
	40点以上50点未満	53	22.0%	5	17.9%
	50点以上60点未満	43	17.8%	4	14.3%
	60点以上70点未満	16	6.6%	4	14.3%
	70点以上80点未満	14	5.8%	0	0.0%
	80点以上90点未満	7	2.9%	0	0.0%
	90点以上100点未満	5	2.1%	0	0.0%
	100点	3	1.2%	0	0.0%
	計	241	100.0%	28	100.0%

		行動援護			
		60時間未満		60時間以上	
		対象者数	%	対象者数	%
中間評価項目 (行動)	0点以上10点未満	0	0.0%	0	0.0%
	10点以上20点未満	0	0.0%	0	0.0%
	20点以上30点未満	10	4.1%	0	0.0%
	30点以上40点未満	14	5.8%	4	14.3%
	40点以上50点未満	31	12.9%	6	21.4%
	50点以上60点未満	46	19.1%	4	14.3%
	60点以上70点未満	58	24.1%	4	14.3%
	70点以上80点未満	42	17.4%	6	21.4%
	80点以上90点未満	31	12.9%	3	10.7%
	90点以上100点未満	7	2.9%	0	0.0%
	100点	2	0.8%	1	3.6%
	計	241	100.0%	28	100.0%

4. 同行援護の支給決定量に係る要因分析

1) 基本集計

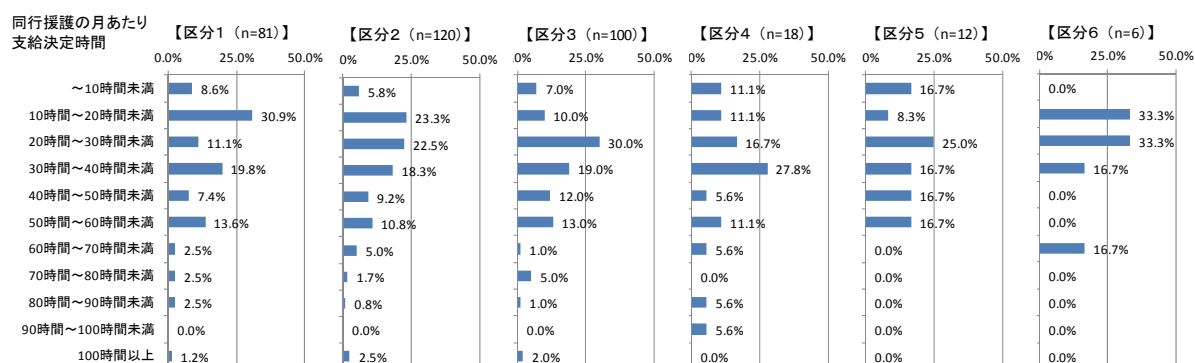
(1) 利用者の属性による平均支給決定時間

同行援護を利用している場合の、利用者の障害程度区分別の支給決定時間の平均値を算出したところ、区分1の平均時間は29.5時間、区分2は31.6時間、区分3は33.7時間、区分4は35.0時間、区分5は27.1時間、区分6は27.5時間となっており、区分3～4で支給決定時間が長くなっていた。

また、支給決定時間の平均値は、いずれの年齢階級でも大きな差はみられなかった。

図表 4 - 34 利用者の障害程度区分別の平均支給決定時間

		障害程度区分					
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
同行援護 支給決定時間 (1か月あたり)	平均値	29.5	31.6	33.7	35.0	27.1	27.5
	最大値	100	130	140	92	50	60
	第3四分位	40	40	46	50	40	30
	中央値	20	27	30	30	25	25
	第1四分位	14	16	20	20	18	16
	最小値	5	4	2	4	5	10
	対象者数	81	120	100	18	12	6



図表 4 - 35 利用者の年齢階級別の平均支給決定時間

		同行援護支給決定時間	
		n	平均時間
年齢階級	20歳未満	3	32.3
	20歳～24歳	6	19.0
	25歳～29歳	6	29.3
	30歳～34歳	9	40.4
	35歳～39歳	16	28.1
	40歳～44歳	13	33.6
	45歳～49歳	21	30.3
	50歳～54歳	44	27.7
	55歳～59歳	59	32.5
	60歳～64歳	73	32.7
	65歳以上	98	32.0

(2) 利用者の状態による平均支給決定時間

利用者の状態別の支給決定時間を集計したが、状態の違いによる差はあまり見られなかった。

図表 4 - 36 利用者の状態別の平均支給決定時間

特別な医療(医師意見書より)

		同行援護支給決定時間	
		n	平均時間
特別な医療	あり	22	29.4
	なし	286	30.6

※特別な医療『あり』とは、点滴の管理、中心静脈栄養、透析、ストーマの処置、酸素療法、レスピレーター、気管切開の処置、疼痛の看護、経管栄養(胃ろう)、吸引処置、モニター測定、じょくそうの処置、カテーテルのいずれかに該当するもの。

行動上の障害(医師意見書より)

		同行援護支給決定時間	
		n	平均時間
行動上の障害	あり	43	25.9
	なし	240	32.1

※行動上の障害『あり』とは、昼夜逆転、暴言、暴行、介護への抵抗、徘徊、火の不始末、不潔行為、異食、性的行動障害、その他のいずれかに該当するもの。

精神・神経症状(医師意見書より)

		同行援護支給決定時間	
		n	平均時間
精神・神経症状	あり	58	28.0
	なし	224	31.7

※精神・神経症状『あり』とは、せん妄、傾眠傾向、幻視・幻聴、妄想、失見当識、失認、失行、先行、認知障害、記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害、その他のいずれかに該当するもの。

(3) 利用者の生活環境による平均支給決定時間

同行援護を利用している場合の、介護者の有無別の支給決定時間の平均値を算出したところ、介護者ありの場合の平均は 29.6 時間、介護者なしの場合の平均は 31.4 時間であり、あまり大きな差は見られなかった。

図表 4 - 37 介護者の有無別の支給決定時間

		同行援護支給決定時間	
		n	平均時間
介護者	あり	193	29.6
	なし	109	31.4

また、居住する自治体の特性別に平均時間を算出したところ、規模の大きな自治体であるほど支給決定時間が長くなる傾向があった。

図表 4 - 38 居住地域特性別の平均支給決定時間

市町村人口階級

		同行援護支給決定時間	
		n	平均時間
人口階級	1万人未満	4	43.3
	1万人～3万人未満	43	24.6
	3万人～5万人未満	63	26.0
	5万人～10万人未満	63	30.9
	10万人～30万人未満	92	27.9
	30万人～50万人未満	49	41.4
	50万人以上	34	45.1

可住地人口密度(1平方キロメートルあたり)

		同行援護支給決定時間	
		n	平均時間
人口階級	500人未満	53	25.9
	500人～1000人未満	69	22.7
	1000人～1500人未満	43	24.3
	1500人～2000人未満	70	33.4
	2000人～3000人未満	36	45.9
	3000人	77	38.4

自治体に所在する事業所数(同行援護事業所)

		同行援護支給決定時間	
		n	平均時間
事業所数	0か所	20	27.0
	1か所	29	21.1
	2か所	28	27.8
	3～5か所	28	26.4
	6か所以上	81	31.6

自治体における支給決定基準の有無

		同行援護支給決定時間	
		n	平均時間
支給決定基準	あり	75	25.4
	なし	102	29.9

※事業所数の集計は H26 収集データのみの分析のため n が少なくなっている

2) 平均支給決定時間に影響を与える複数の要因を考慮した検討

(1) 程度区分、介護者の有無を考慮に入れた分析

障害程度区分、介護者の有無の2つの要因を考慮に入れた平均支給決定時間を集計したところ、障害程度区分が高くなるほど、また、介護者なしであるほど平均支給決定時間が長くなる傾向がみられた。

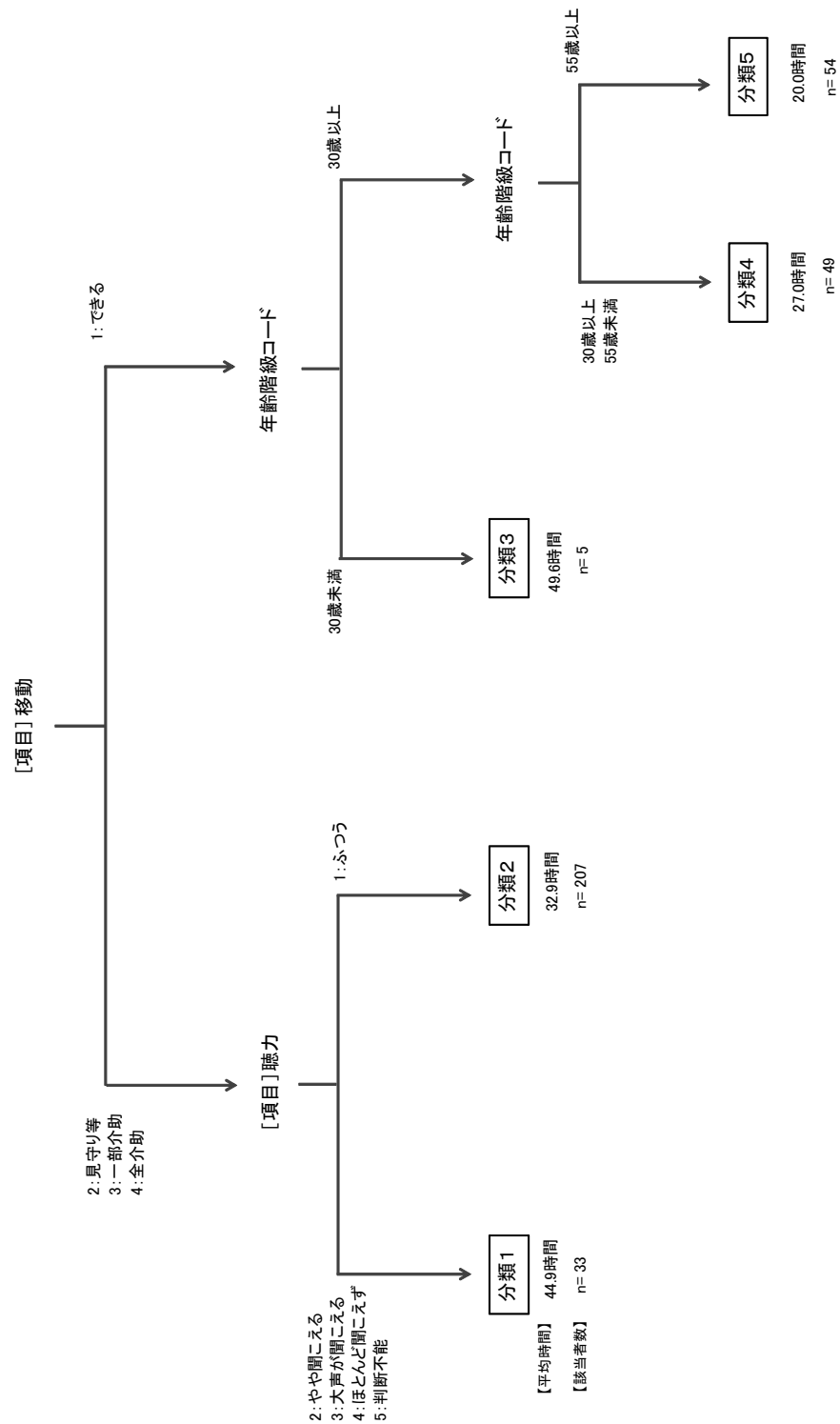
図表 4 - 39 程度区分別、介護者の有無別の平均支給決定時間

		同行援護	
		n	平均時間
区分1	介護者あり	39	26.3
	介護者なし	32	29.1
区分2	介護者あり	63	27.2
	介護者なし	41	32.8
区分3	介護者あり	55	32.8
	介護者なし	31	34.3
区分4	介護者あり	14	40.0
	介護者なし	3	19.7
区分5	介護者あり	11	26.8
	介護者なし	0	-
区分6	介護者あり	4	34.8
	介護者なし	0	-

(2) 認定調査項目等を考慮に入れた決定木分析

同行援護を利用しているデータに対して、支給決定時間を目的変数とし決定木分析（回帰木分析）を行った。分析の結果、5つの分類を作成した。

図表 4 - 40 決定木分析による同行援護支給決定時間の分類作成



決定木分析で得られた5分類を特徴づけると下記のように表現することができる。

図表 4 - 41 決定木分析により作成された分類の特徴(行動援護)

分類	平均支給決定時間	特徴
分類 1	44.9時間	「移動」に見守りや介助が必要で、聴力にも問題がある。
分類 2	32.9時間	「移動」に見守りや介助が必要だが、聴力には問題がない
分類 3	49.6時間	「移動」は自身ででき、30歳未満である。
分類 4	27.0時間	「移動」は自身ででき、30歳以上55歳未満である。
分類 5	20.0時間	「移動」は自身ででき、55歳以上である。

(3) 利用者の生活環境等を考慮に加えた分析

決定木分析で得られた5の分類に対して、利用者の生活環境等（就労状況や生活の場所、介護者の有無（概況調査票から得られたデータ）、居住している自治体の特性など）を加えて集計を行った結果、影響のあった項目について取り上げる。

①居住自治体の人口階級

サンプル数が少ない分類が多いことに留意は必要であるが、ほぼ全ての分類で居住自治体の規模（人口階級）により差があり、人口規模の大きい自治体ほど支給決定量が多い傾向がやや見られた。

図表 4 - 42 分類別、自治体の規模別の同行援護の平均支給決定時間

			同行援護支給決定時間					同行援護支給決定時間	
			n	平均時間				n	平均時間
分類1	人口階級	1万人未満	0	－	分類4	人口階級	1万人未満	0	－
		1万人～3万人未満	2	30.0			1万人～3万人未満	4	25.8
		3万人～5万人未満	5	48.2			3万人～5万人未満	9	20.6
		5万人～10万人未満	3	26.0			5万人～10万人未満	11	31.3
		10万人～30万人未満	11	35.9			10万人～30万人未満	14	22.5
		30万人～50万人未満	8	54.0			30万人～50万人未満	9	34.6
		50万人以上	4	69.3			50万人以上	2	32.5
分類2	人口階級	1万人未満	3	50.0	分類5	人口階級	1万人未満	1	23.0
		1万人～3万人未満	24	28.5			1万人～3万人未満	12	15.9
		3万人～5万人未満	38	28.1			3万人～5万人未満	11	13.1
		5万人～10万人未満	34	34.4			5万人～10万人未満	14	21.8
		10万人～30万人未満	56	28.0			10万人～30万人未満	11	26.2
		30万人～50万人未満	25	39.6			30万人～50万人未満	4	28.5
		50万人以上	27	43.6			50万人以上	1	13.5
分類3	人口階級	1万人未満	0	－			1万人未満		
		1万人～3万人未満	1	20.0			1万人～3万人未満		
		3万人～5万人未満	0	－			3万人～5万人未満		
		5万人～10万人未満	1	48.0			5万人～10万人未満		
		10万人～30万人未満	0	－			10万人～30万人未満		
		30万人～50万人未満	3	60.0			30万人～50万人未満		
		50万人以上	0	－			50万人以上		

3) 支給決定時間の多い利用者の状態像

同行援護で60時間以上の支給決定がある者について、認定調査項目の回答状況を集計し、回答割合に差の見られる結果を抜粋した。

「60時間以上」支給決定されている群では、「移動」、「排尿」の項目で「一部介助」の割合が高いほか、「視力」が「ほとんど見えず」、「聴力」が「やっと聞こえる」の割合がやや高く、より支援を要する状態の者が多い可能性がある。

図表 4 - 43 同行援護支給決定者における支給決定量別の認定調査項目回答分布

		同行援護			
		60時間未満		60時間以上	
		対象者数	比率	対象者数	比率
【調査】2-7 移動	できる	104	32.9%	4	12.5%
	見守り等	65	20.6%	7	21.9%
	一部介助	138	43.7%	20	62.5%
	全介助	9	2.8%	1	3.1%
	計	316	100.0%	32	100.0%
【調査】4-5 排尿	できる	269	85.1%	19	59.4%
	見守り等	20	6.3%	5	15.6%
	一部介助	21	6.6%	7	21.9%
	全介助	6	1.9%	1	3.1%
	計	316	100.0%	32	100.0%

		同行援護			
		60時間未満		60時間以上	
		対象者数	比率	対象者数	比率
【調査】6-1 視力	普通	5	1.6%	0	0.0%
	1km先が見える	24	7.6%	1	3.1%
	目の前が見える	41	13.0%	2	6.3%
	ほとんど見えず	244	77.2%	29	90.6%
	判断不能	2	0.6%	0	0.0%
	計	316	100.0%	32	100.0%
【調査】6-2 聴力	普通	271	85.8%	24	75.0%
	やっと聞こえる	34	10.8%	7	21.9%
	大声が聞こえる	6	1.9%	1	3.1%
	ほとんど聞こえず	4	1.3%	0	0.0%
	判断不能	1	0.3%	0	0.0%
	計	316	100.0%	32	100.0%